

淡水魚類

今回の調査では、草津市内の一級河川である9河川において26地点、ため池では17地点、またJR東海道線から西側の農業用灌漑水路では14地点において、魚類の採集・調査を行いました。その結果、市内においては亜種も含めて8科34種の淡水魚の生息が確認されました。滋賀県内には約70種の淡水魚が見られますが、草津市内に生息する魚類の種類数は、その約50%を占めていることになります。

河川、水路、ため池の、それぞれの場所で確認された魚類の内訳は、河川で8科30種、水路で8科27種、ため池で5科13種となり、河川と水路では種類数が多く、ため池では種類数が少ないということが明らかになりました。

今回の調査では、タナゴの仲間(ぼてじゃこ)やワタカなど、滋賀県レッドデータブック2010年版に記載されている絶滅の危機に瀕している魚類の生息場所も明らかになりました。また、水路では田植時期に琵琶湖からコイやフナ類などが産卵にやってくることも確認されました。



採集した魚類 (前畑政善)



ギンブナ (前畑政善)

市内に広く分布している魚

市内の河川、水路、ため池のいずれの場所にも広くすんでいる日本在来の魚類(在来種)は、オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、タモロコ、コイ、ドジョウ、トウヨシノボリ、ウキゴリなど8種です。また、外来種である北アメリカ原産のオオクチバス(通称:ブラックバス)とブルーギルについても、いずれの場所でも生息が確認されました。



オイカワ (前畑政善)



カワムツ (前畑政善)



ヌマムツ (前畑政善)



タモロコ (長田智生)



コイ (前畑政善)



ドジョウ (前畑政善)

草津市内の河川、水路、ため池の魚類

科	和名	河川	水路	ため池
アユ科	アユ	4	2	—
コイ科	オイカワ	8	5	3
	カワムツ	9	1	1
	ヌマムツ	5	1	2
	ハス	1	—	—
	タモロコ	8	2	8
	ホンモロコ	1	1	—
	スゴモロコ	4	2	—
	コウライモロコ	1	—	—
	モツゴ	—	—	5
	ツチフキ	3	3	—
	カマツカ	6	4	—
	ニゴイ	1	1	—
	アブラボテ	—	2	—
	ヤリタナゴ	3	2	—
	カネヒラ	5	3	—
	タイリクバタラナゴ	3	—	—
	ワタカ	1	2	—
ギンブナ	6	2	—	
ニゴロブナ	—	1	3	
ゲンゴロウブナ	1	1	—	
コイ	4	1	12	
ドジョウ科	ドジョウ	5	4	2
ナマズ科	ナマズ	1	3	—
メダカ科	メダカ	3	1	—
サンフィッシュ科	ブルーギル	7	5	9
	オオクチバス	9	6	6
タイワンドジョウ科	カムルチー	1	1	1
ハゼ科	ドンコ	5	—	—
	カワヨシノボリ	2	—	—
	トウヨシノボリ	9	4	4
	ビワヨシノボリ	—	1	—
	ウキゴリ	4	3	1
	ヌマチチブ	2	—	—
合計8科	34種	30	27	13

*表中の数字はそれぞれ魚類が確認された河川の数を示す。

河川にすんでいる魚

河川ではオイカワ、ヌマムツ、タモロコ、ニゴイなど、滋賀県レッドデータブック 2010年版に記載されている絶滅が危惧される種など、8科30種の魚類が確認されました。

魚の種類数が最も多く確認された河川は、草津川の26種です。次いで多くの魚種が確認された河川は、堺川の20種、伊佐々川の19類、葉山川の15種などでした。また、河川に広く確認された在来魚は、カワムツ、トウヨシノボリ、オイカワ、タモロコ、ギンブナ、カマツカ、ヌマムツ、カネヒラ、ドジョウ、ドンコなどでした。



一方、9河川において分布する河川数が少なかった在来魚はアユ、ツチフキ、タイリクバラタナゴ、メダカ、スゴモロコ、コイ、ウキゴリなどでした。また、1河川のみでしか確認されなかった在来魚はニゴイ、ワタカ、ナマズなど8種でした。

草津市内の9河川において確認された魚類

科	和名	草津川	堺川	伊佐々川	葉山川	伯母川(旧河川)	狼川	山寺川	十禅川	前川
アユ科	アユ	○	○	○	—	—	—	○	—	—
コイ科	オイカワ	○	○	○	○	○	○	○	—	○
	カワムツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ヌマムツ	○	○	○	○	—	○	—	—	—
	ハス	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	タモロコ	○	○	○	○	○	○	○	—	○
	ホンモロコ	—	○	—	—	—	—	—	—	—
	スゴモロコ	○	○	—	○	—	—	○	—	—
	コウライモロコ	○	—	—	—	—	—	—	—	—
	ツチフキ	○	—	○	—	○	—	—	—	—
	カマツカ	○	○	○	○	—	—	○	○	—
	ニゴイ	—	—	—	○	—	—	—	—	—
	ヤリタナゴ	—	○	○	○	—	—	—	—	—
	カネヒラ	○	○	○	○	○	—	—	—	—
	タイリクバラタナゴ	○	○	○	—	—	—	—	—	—
	ワタカ	—	—	○	—	—	—	—	—	—
ギンブナ	○	○	○	—	○	○	—	○	—	
ゲンゴロウブナ	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
コイ	○	○	—	○	—	○	—	—	—	
ドジョウ科	ドジョウ	○	○	○	○	○	—	—	—	—
ナマズ科	ナマズ	○	—	—	—	—	—	—	—	—
メダカ科	メダカ	○	○	—	—	○	—	—	—	—
サンフィッシュ科	ブルーギル	○	○	○	○	—	○	○	○	—
	オオクチバス	○	○	○	○	○	○	○	○	○
タイワンドジョウ科	カムルチー	○	—	—	—	—	—	—	—	—
ハゼ科	ドンコ	○	○	○	—	○	○	—	—	—
	カワヨシノボリ	○	—	○	—	—	—	—	—	—
	トウヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ウキゴリ	○	○	○	—	○	—	—	—	—
	ヌマチチブ	○	—	—	○	—	—	—	—	—
合計8科	30種	26	20	19	15	12	10	9	6	5

水路にすむ魚



水路の景観（前畑政善）

水路では合計27種の魚類が確認されました。特に注目されたのは、アブラボテ、ヤリタナゴ、カネヒラ、ニゴロブナ、ワタカ、ゲンゴロウブナ、ホンモロコ、スゴモロコ、メダカなど、滋賀県レッドデータブック2010年版の絶滅が危惧される種類が9種も確認されたことです。



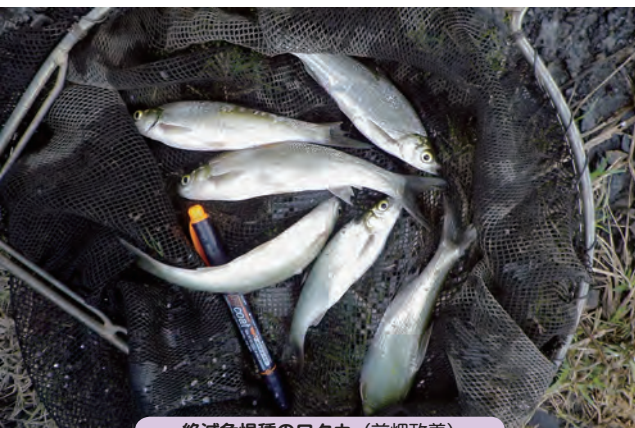
絶滅危機増大種のアブラボテ
（前畑政善）



絶滅危機増大種のヤリタナゴ
（前畑政善）



絶滅危機増大種のメダカ（前畑政善）



絶滅危惧種の水タカ（前畑政善）

ため池にすむ魚



ため池の野池における景観（長田智生）

ため池で確認された魚類は13種と少なかったのですが、河川や水路ではまったく確認されなかったモツゴが5つの池で獲れました。特にある池ではこの魚が数百尾もまとまって獲れました。なお、モツゴが確認された池では外来種がほとんどいなかったことが注目に値します。



希少種のモツゴ（長田智生）



コイの幼魚（長田智生）

魚のすめる環境を残そう！

草津市内にも、多くの魚類が生息していることがわかりました。また、滋賀県レッドデータブックに記載されている絶滅が危惧されるような魚類も、生息場所や個体数こそ限られていますが、まだ何地点かにわずかに生き残っていることが明らかになりました。

次の世代の人びとのためにも、今回確認された多くの魚類が生息できる環境を大切に守っていききたいものです。